

血管内レーザー治療法

○治療方法

膝の近くまたはふくらはぎの辺りから、局所麻酔をして、直径約1mmの針を使って静脈をさし、そこからさらに細いワイヤー伝いに直径1mm位のカテーテル（くだ）を静脈に挿入します。そこから逆流している静脈にレーザーファイバーを挿入し、静脈を焼灼（焼き固める）させて逆流をなくします。これにより静脈瘤に流れ込んでいた逆流した血流がなくなり、種々の症状の改善が見られます。

○治療機器

当科では最新型のエンドサームレーザー1470ENDOTHERMELASERTM1470；LSO Medical, フランス製）を導入しています。波長1470nmのレーザーを使用しているため、熱エネルギーが静脈の壁に深く浸透せず（痛みや出血が少なくなります）、またラジアルファイバーにより静脈壁を均等に焼灼することが可能となり（効率的に熱がかかる）、治療時の疼痛や出血といった合併症がほとんどなく、効率的な治療が可能です。



光ファイバー



レーザージェネレーター

○特徴

- ・メスを用いないので、細い管を用いるので傷跡がほとんど目立ちません。
- ・体への負担が少なく、治療時間は1時間前後で行えます。
- ・保険適応です。
- ・外来または一泊二日の入院で治療が可能です。
- ・治療次日の朝に診察の後に退院して頂きます。
- ・約1週間後に外来で経過をチェックします。

○副作用

- ・皮下血腫、疼痛は軽度で、発生率は10%前後です。
- ・深部静脈血栓症(0.3%)、神経障害(3%)、血栓性静脈炎(1.9%)などです。

当科でのレーザー治療は、カテーテル治療の専門家であるIVR*専門医が治療をするため、血管内治療のエキスパートによる治療を受けることができます。また、放射線診断医でもあるため、治療前の画像による評価も自ら行っており、確実な診断が可能です。

外来日：月. 金 pm 1:30～（予約制）
治療日：木曜日（一泊入院）